



CDPサプライヤートレーニング フォレスト

サプライヤーサポートトレーニング

2025年8月8日

アジェンダ

森林について情報開示をすべき理由

「行動をしない」場合のリスク

サプライチェーンの重要性

企業にとって開示をするメリット

森林情報開示への道のり

森林について 情報開示をすべき理由



影響・依存関係・リスク・機会の概要と、情報開示の必要性

情報開示をし、行動を促す

人間活動が森林に与える影響に、早急に対処する必要がある

75%

陸域生態系の75%が深刻に
転換されている[出典]

>50%

1960年以降に世界の樹木
被覆の50%以上が失われ
[出典] 2000年以降では
11%失われている[出典]

20-40%

の土地が劣化している
[出典]

11%

世界の温室効果ガス排出量
の11%以上が森林減少と
不適切な森林管理によるも
のである[出典]



経済的・財務的な重要課題

150兆ドル

企業や金融市場が依存する、
森林が提供するサービスの価値[出典]

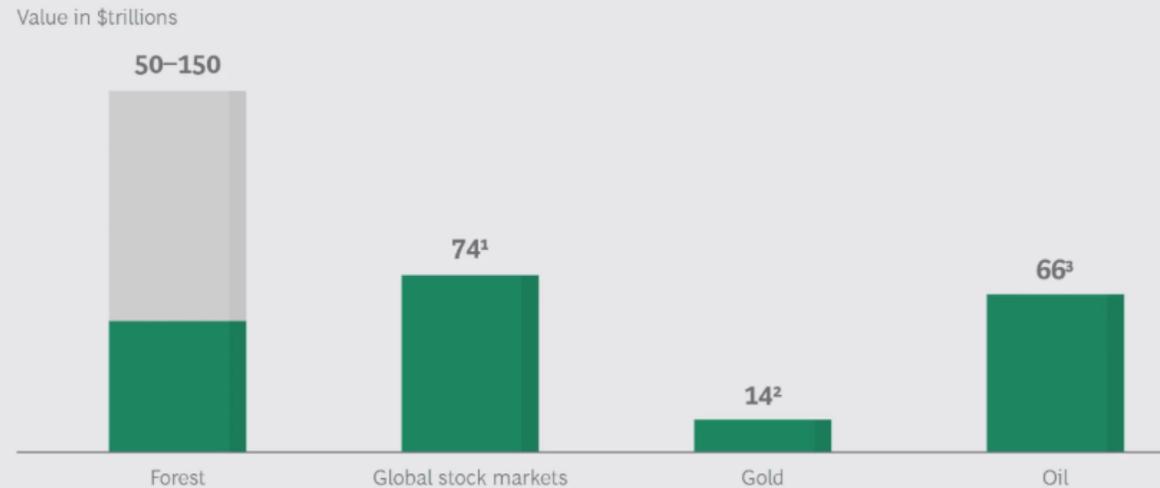


Figure: The High End of Forest Value is Roughly Double That of Global Stock Markets, BCG, 2020.

980億ドル

CDPを通じて開示することで判明した、
企業が直面する財務リスク [出典]

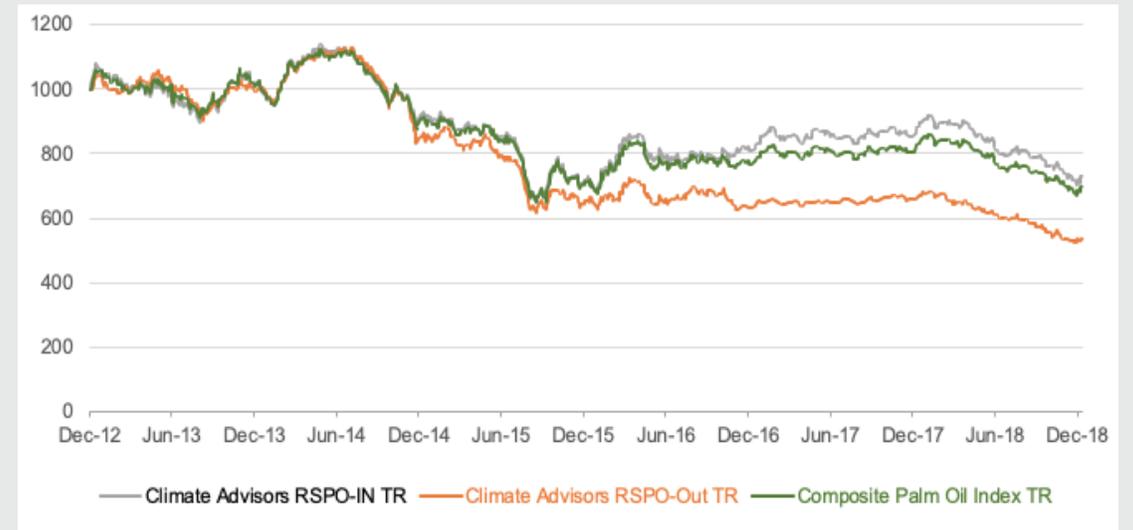


Figure: Climate Advisers Palm Oil Index Performance. Climate advisers, 2019.



気候変動と水への影響

75%

世界の淡水供給の75%は森林生態系に依存している。[出典]

30%

産業と化石燃料から排出される温室効果ガスの30%を森林が吸収[出典]。

80%

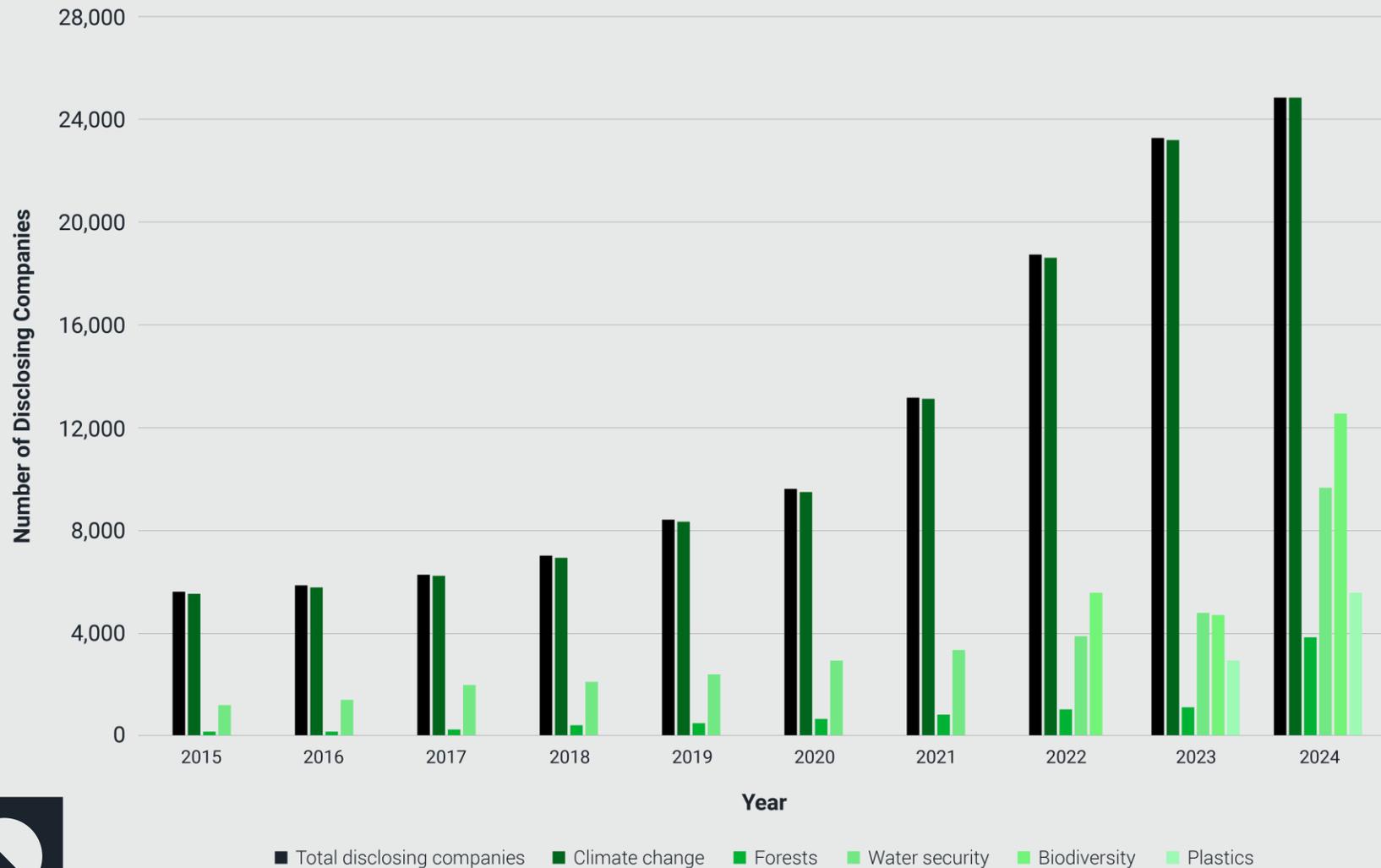
陸上動植物の80%が森林に依存している。[出典]



図：森林ベースの適応。FAO林業、2022年。



ネイチャーに関する情報開示の増加



3851社が森林について情報開示をした（2024年）

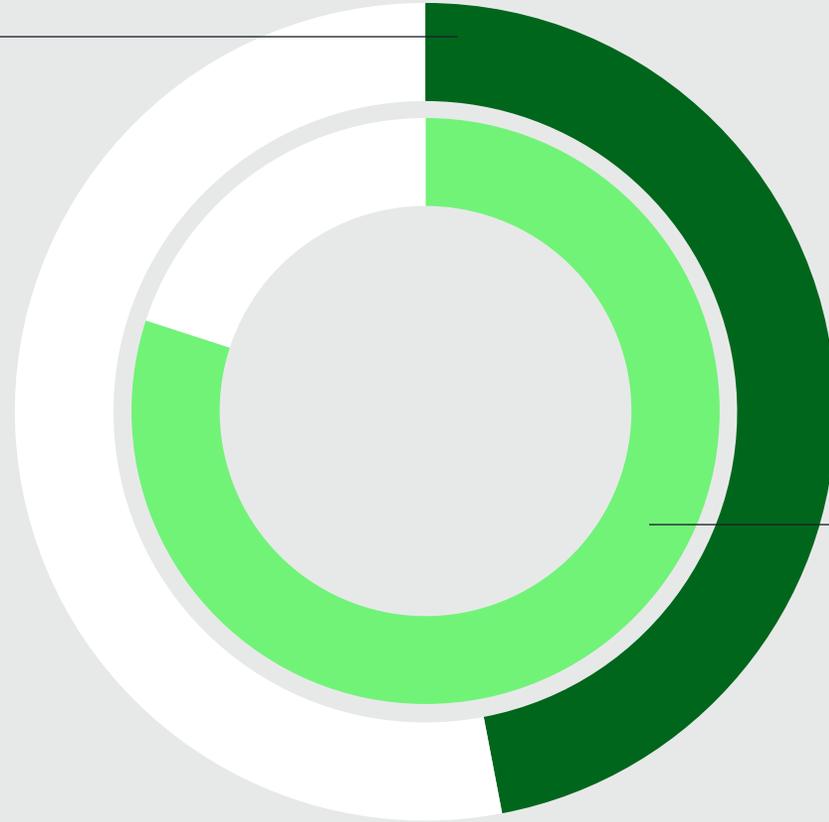
3,500社以上の企業がCDP質問書の気候変動・森林・水に関する情報を開示した（2024年）

気候変動、森林、水のすべての環境課題について開示を行った企業は3,500社以上にのぼり、これは前年と比べて316%増



森林に関する情報開示の増加による、意識改革

CDPを通じて初めて森林関連の開示を行った企業のうち、**47%**が森林に関する方針やコミットメントを持っている



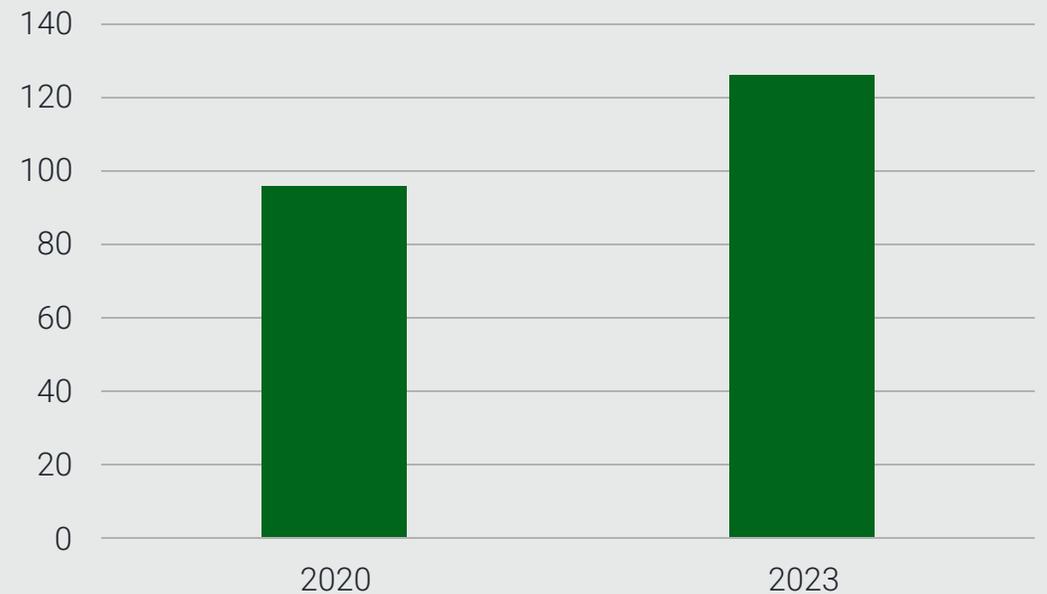
開示3年目には、回答企業の**80%**が方針やコミットメントを策定している



企業の意識と行動

- 2020年から2023年まで一貫して森林減少の管理について報告している242社のうち約半数が、少なくとも1つのコモディティについて森林減少をほぼ根絶したと報告している
- これは、2020年に同じ報告をしていた企業数（90社）から40%の大幅な増加である
- 2023年に少なくとも1つのコモディティについて森林減少をほぼ根絶したと報告している企業は全体の35%（189社）に留まる。

少なくとも1つの調達コモディティで森林減少がほぼないことを報告している企業数：



出典ディスクロージャー・データ・ファクトシート2023 - CDP



「行動をしない」場合のリス



先送りした場合にかかる追加コスト

- 平均で約3億米ドルがリスクにさらされる
- 上記に対して、報告企業1社あたりの対応費用は1,740万米ドル
- 対応をしないことによるコストは、対応する場合のコストの17倍以上になる可能性がある

出典：CDP2022データ



意識をすることで得られるメリット

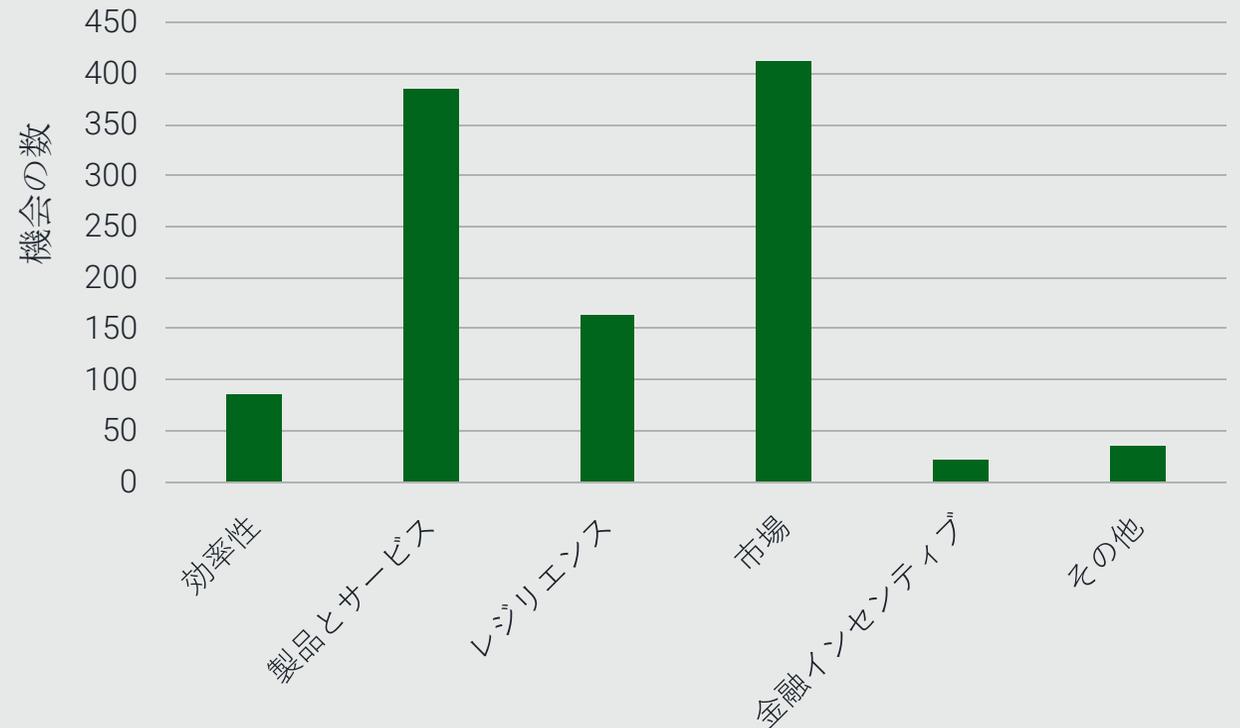
29%の企業が、自社の事業に実質的な財務的または戦略的影響を与える可能性のある森林関連の機会を特定した

231社が580億米ドル相当の機会を報告した

出典：2022年CDPデータ



企業が特定した森林関連の機会



出典：2023年CDPデータ

サプライチェーンの重要性



森林減少への取り組みにおけるサプライチェーンの重要な役割

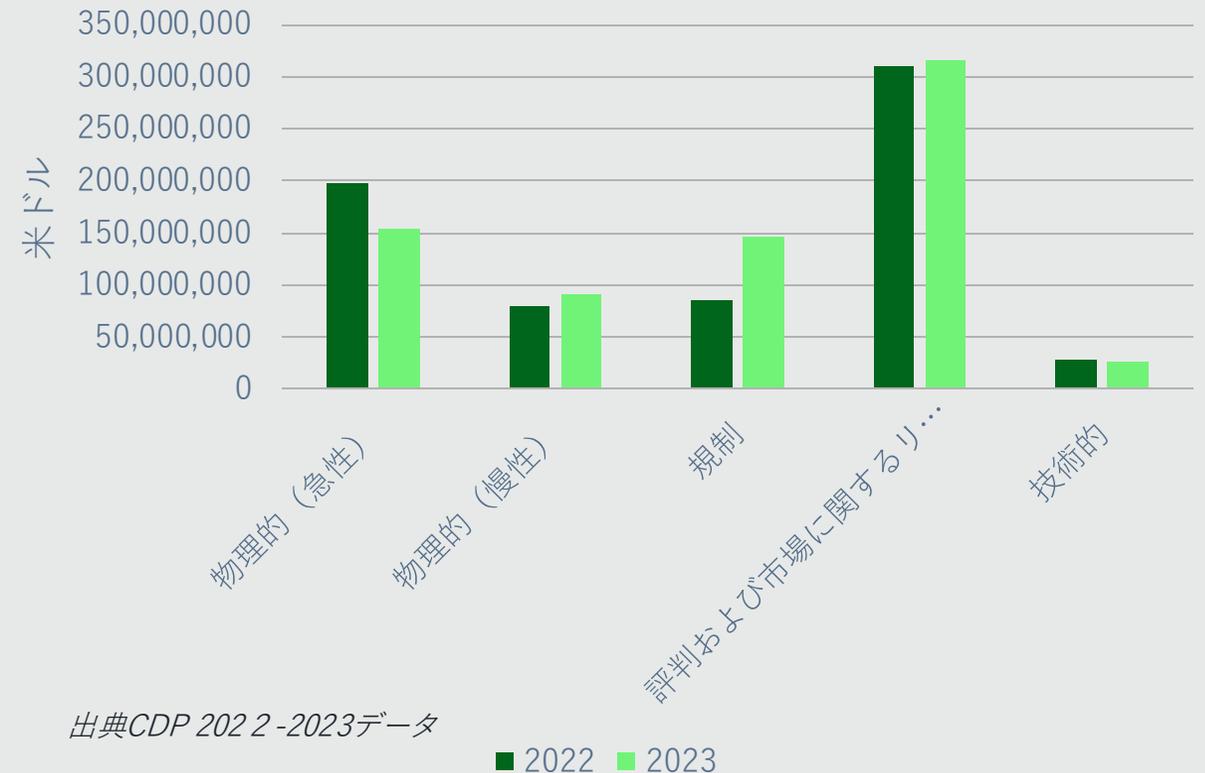
- 2023年に少なくとも1つのコモディティについて、100%森林減少と転換のないサプライチェーンを達成していると報告した企業は64社にとどまった。
- 森林減少と転換のないサプライチェーンに関する進捗状況を開示した企業は445社であったが、包括的かつ質の高い情報を提供したのは186社のみであった。
- 出典CDP2023データ



森林関連のサプライチェーンリスクは重大でありながら見過ごされている

- リスク要因の**52%**がサプライチェーンで発生
- 開示企業の**50%**以上がリスクの評価と査定を行っていない
- 特定のコモディティについて森林関連のリスクアセスメントを実施した企業の**84%**が、森林減少に関連するリスクを特定している
- そのリスクのうち、財務的な影響額を評価しているのは**54%のみ**

1社当たりの平均財務上の影響額（米ドル換算）



企業にとって 開示をするメリット



情報開示の主なメリット



資本へのアクセス

サプライヤーの地位向上

年間支出額6.4兆米ドルの**250以上**の購買組織が調達の意思決定にCDPのサプライヤー・データを利用している



事業競争力

リスクの管理と機会の発掘

>森林リスク要因の50%以上が、企業のサプライチェーン上にある



コンプライアンス 義務的または任意

CDPの情報開示プラットフォームは購買企業や投資家のための情報の一貫性を向上させる



世界の重要な開示基準との整合

整合した開示の支援



CDPは、森林減少、その他の自然生態系の転換、生態系保護に関する行動のための実践的でコンセンサスに基づくガイドであるアカウンタビリティ・フレームワーク・イニシアチブ (AFi) と緊密に協力し、現在のグッドプラクティスを森林の開示内容に反映させている。

CDPでの開示は、**EUの欧州森林破壊防止規則 (EUDR)** に備える上でも、有効な対策になります。



整合の推進



CSRDの情報開示基準ESRSを作成した組織
ESRS E1とは大部分で整合済
公式なパートナーシップを通じて、完全整合に向けて取り組み中



報告主体が経済、環境、社会に与えるインパクトを報告し、持続可能な発展への貢献を説明するためのフレームワークを提供



自関連財務情報開示タスクフォース
TNFDの開示推奨事項に部分的に整合済、完全整合に向けて取り組み中



CDP質問書とTNFDフレームワークの整合

ガバナンス	戦略	リスクとインパクトの管理	測定指標とターゲット
自然関連の依存、インパクト、リスクと機会の組織によるガバナンスの開示。	自然関連の依存、インパクト、リスクと機会が、組織のビジネスモデル、戦略、財務計画に与えるインパクトについて、そのような情報が重要である場合は開示する。	組織が自然関連の依存、インパクト、リスクと機会を特定し、評価し、優先順位付けし、監視するために使用しているプロセスを説明する。	マテリアルな自然関連の依存、インパクト、リスクと機会を評価し、管理するために使用している測定指標とターゲットを開示する。
開示提言	開示提言	開示提言	開示提言
A. 自然関連の依存、インパクト、リスクと機会に関する取締役会の監督について説明する。	A. 組織が特定した自然関連の依存、インパクト、リスクと機会を短期、中期、長期ごとに説明する。	A(i) 直接操作における自然関連の依存、インパクト、リスクと機会を特定し、評価し、優先順位付けするための組織のプロセスを説明する。	A. 組織が戦略およびリスク管理プロセスに沿って、マテリアルな自然関連リスクと機会を評価し、管理するために使用している測定指標を開示する。
B. 自然関連の依存、インパクト、リスクと機会の評価と管理における経営者の役割について説明する。	B. 自然関連の依存、インパクト、リスクと機会が、組織のビジネスモデル、バリューチェーン、戦略、財務計画に与えたインパクト、および移行計画や分析について説明する。	A(ii) 上流と下流のバリューチェーンにおける自然関連の依存、インパクト、リスクと機会を特定し、評価し、優先順位付けするための組織のプロセスを説明する。	B. 自然に対する依存とインパクトを評価し、管理するために組織が使用している測定指標を開示する。
C. 自然関連の依存、インパクト、リスクと機会に対する組織の評価と対応において、先住民族、地域社会、影響を受けるステークホルダー、その他のステークホルダーに関する組織の人権方針とエンゲージメント活動、および取締役会と経営陣による監督について説明する。	C. 自然関連のリスクと機会に対する組織の戦略のレジリエンスについて、さまざまなシナリオを考慮して説明する。	B. 自然関連の依存、インパクト、リスクと機会を管理するための組織のプロセスを説明する。	C. 組織が自然関連の依存、インパクト、リスクと機会を管理するために使用しているターゲットと目標、それらと照合した組織のパフォーマンスを記載する。
	D. 組織の直接操作において、および可能な場合は上流と下流のバリューチェーンにおいて、優先地域に関する基準を満たす資産および/または活動がある地域を開示する。	C. 自然関連リスクの特定、評価、管理のプロセスが、組織全体のリスク管理にどのように組み込まれているかについて説明する。	

CDP質問書との整合レベル

- 完全な整合
- かなり整合
- 部分的な整合
- ほとんどまたは全く整合しない

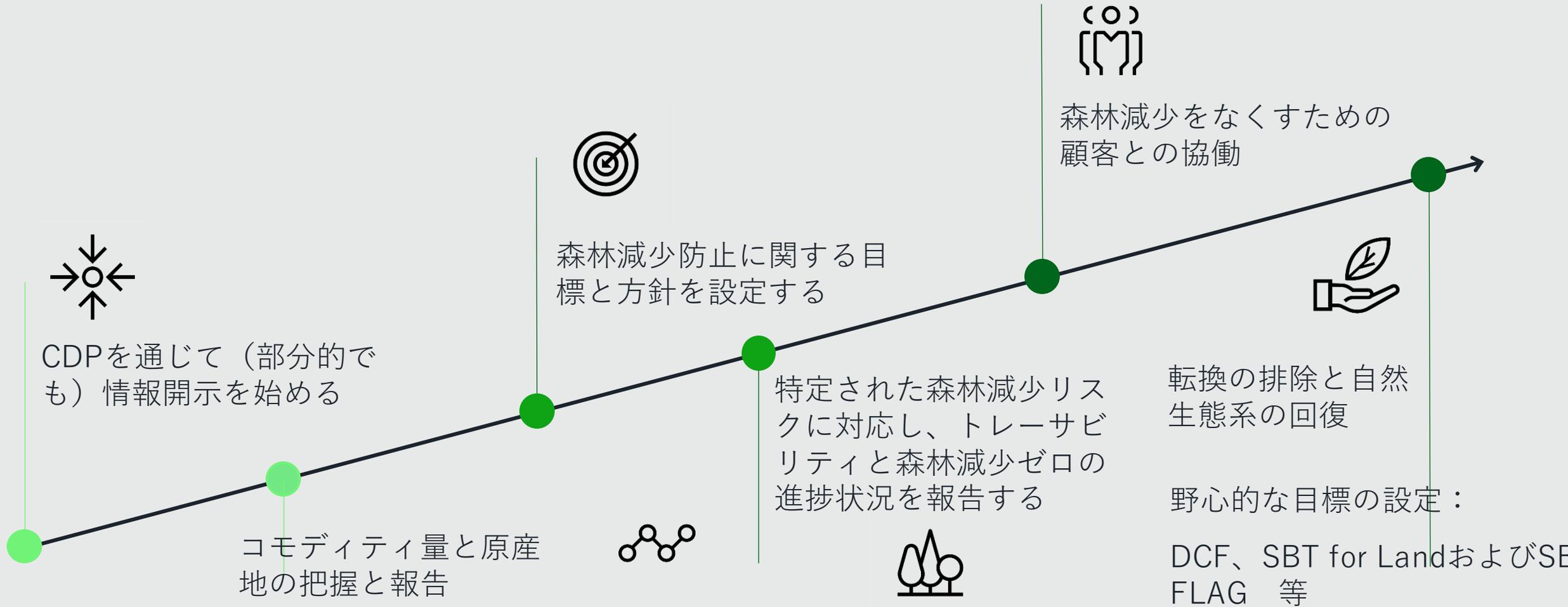
出典: [自然関連財務情報開示-タスクフォースの提言 2023.pdf \(tnfd.global\)](#)

[Correspondence between TNFD Disclosure](#)



サプライヤー開示のロードマップ

-フォレスト-



第1段階：基盤の確立

第2段階：能力の構築

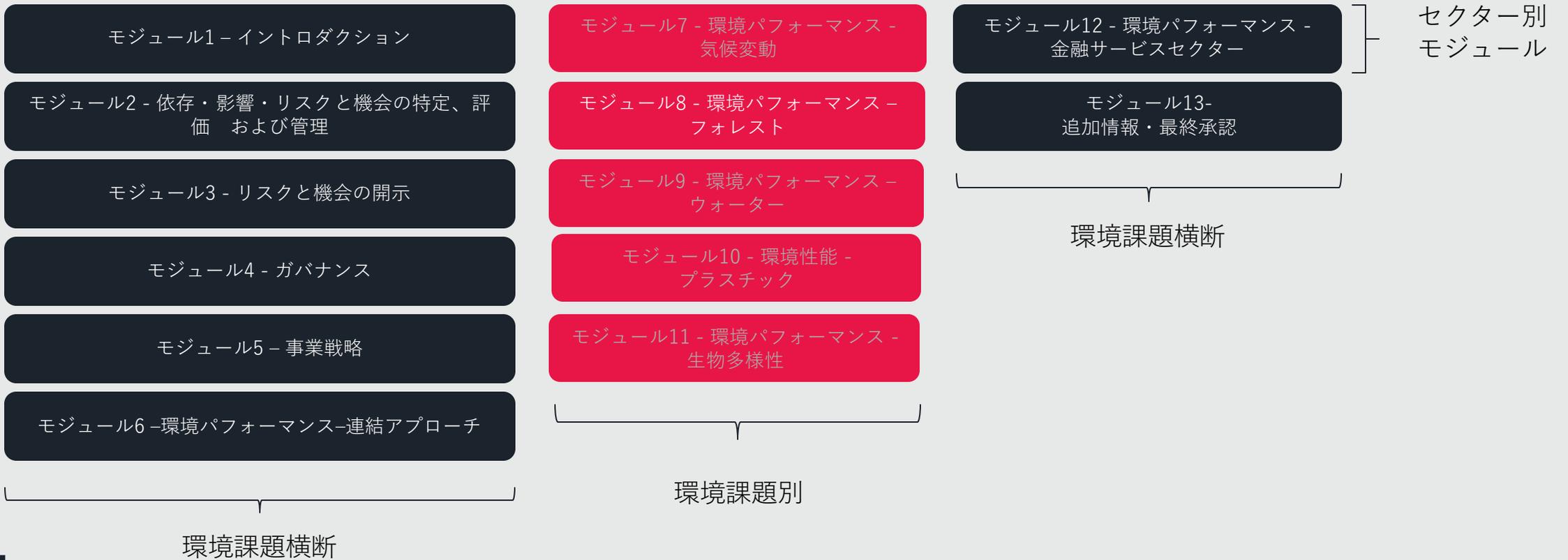
第3段階：パフォーマンスの向上

森林情報開示への道のり



情報開示を通し、環境改善を推進する

完全版質問書

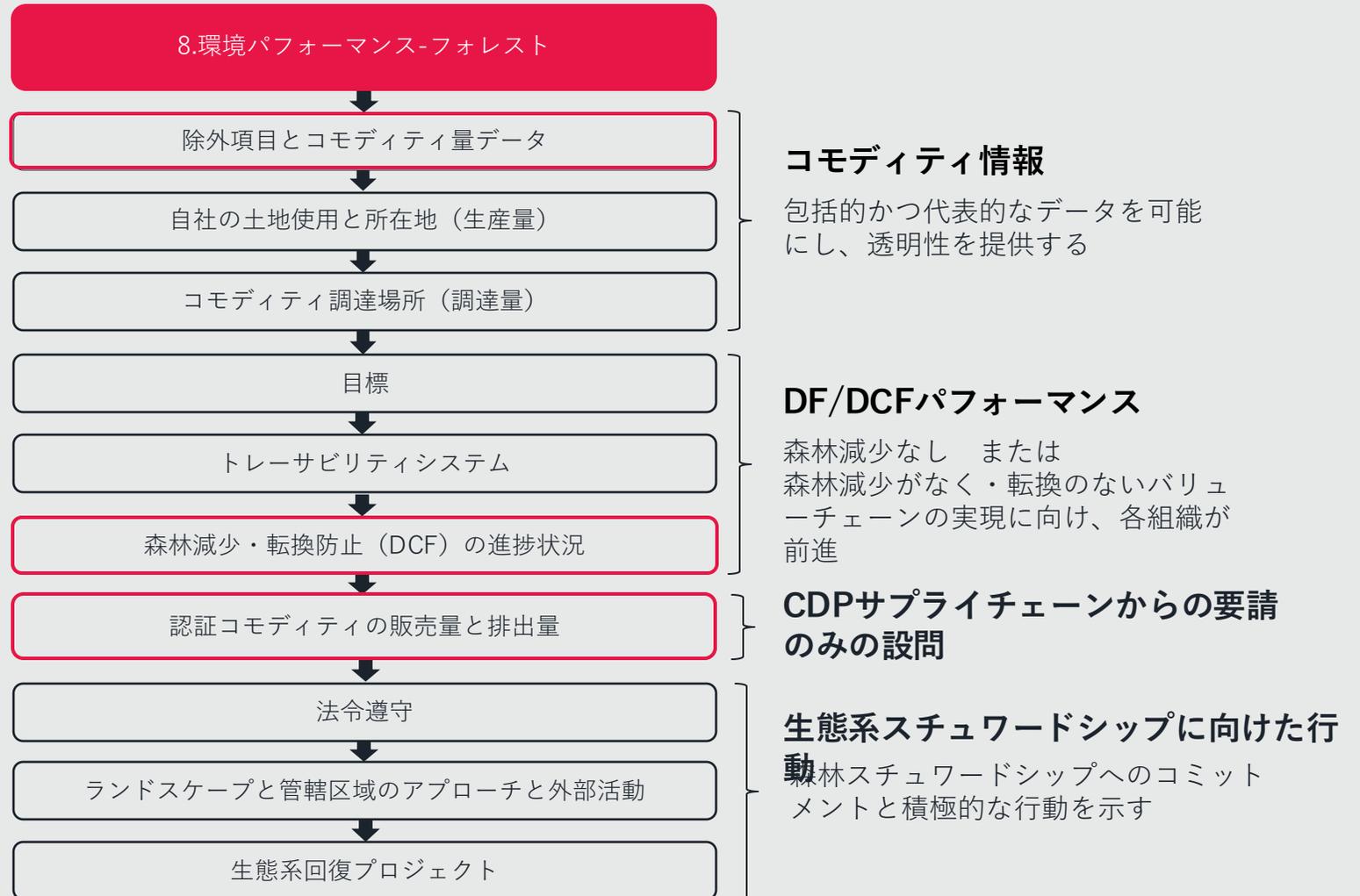


CDP 「フォレスト」 モジュール

可能な限りCDPに開示し、可能な限りその回答内容を公開し、完全版質問書への回答を行うことを推奨しております。

すべての質問に回答するキャパシティがない場合は、以下の質問への回答を初めることを推奨します：

1. 除外項目とコモディティ量データ
2. 自然生態系の転換なし（DCF）の進捗状況
3. サプライチェーン要請に関連する設問

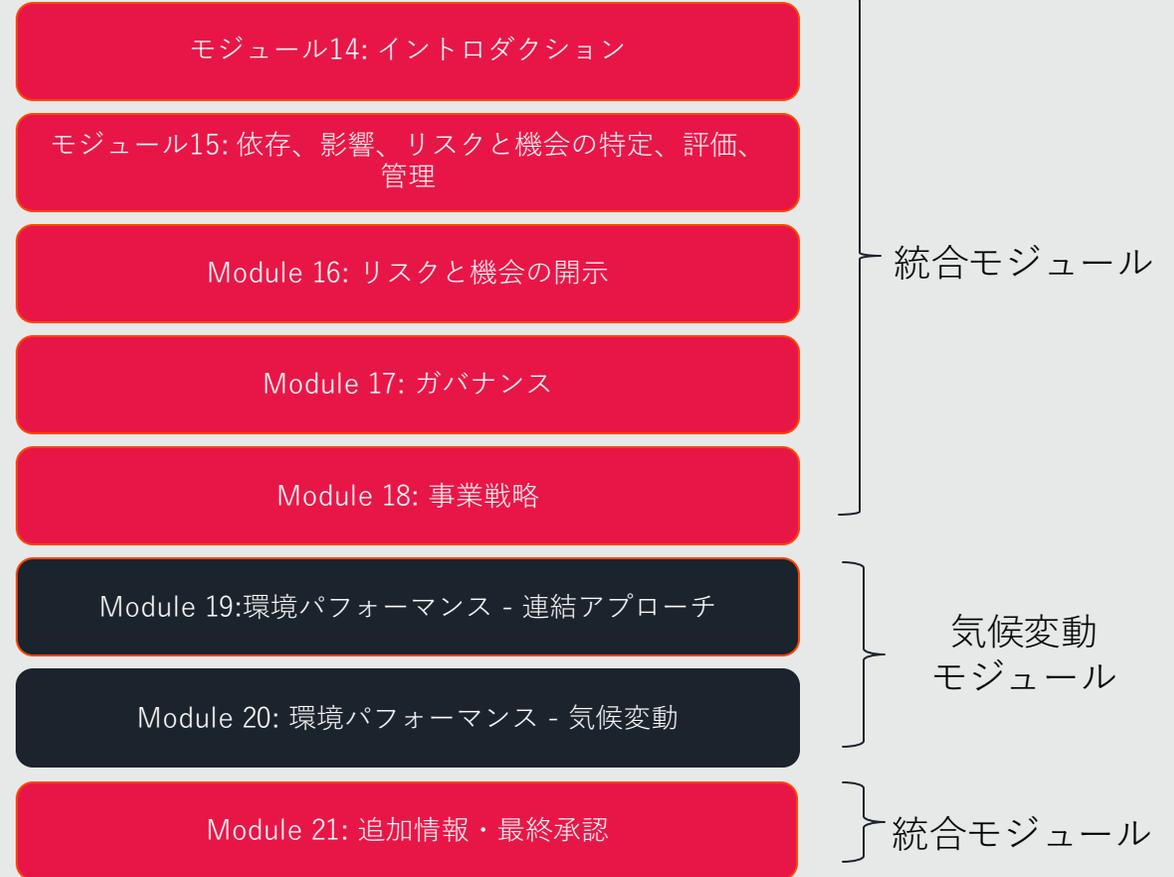


SME（中小企業）の開示について

- CDPは、2024年に中小企業向けのSME版質問書を導入しました。これにより、中小企業がどこに注意を向け、能力を高め、行動すべきかを理解しやすくなります

統合モジュール（14～18）には、以下のような森林に関するデータを中小企業（SMEs）が提供し始めることができる一部の設問も含まれています：

- リスクおよび機会の評価プロセス
- サプライヤー、顧客、その他ステークホルダーとのエンゲージメント
- CDPサプライチェーンメンバーと連携可能な森林関連イニシアチブ

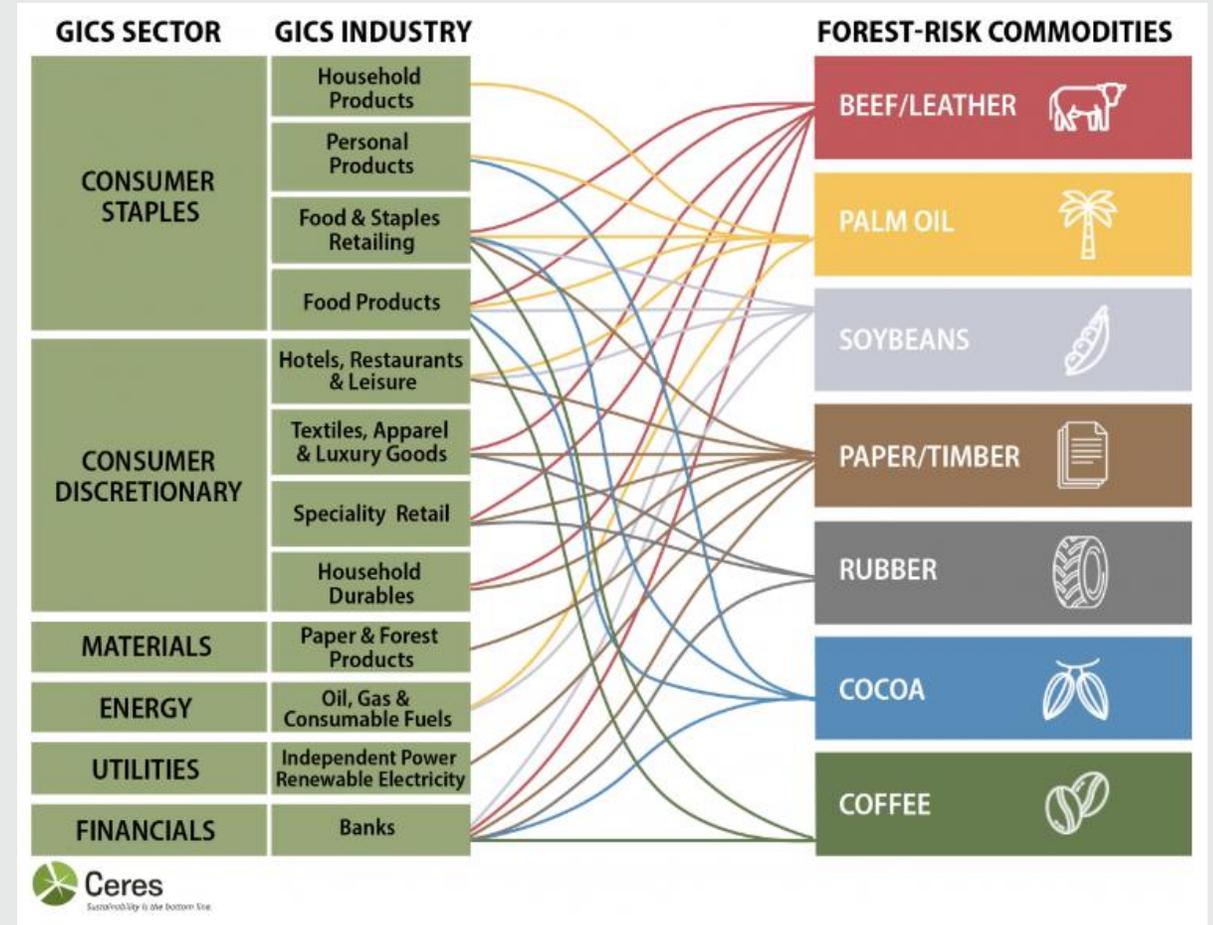


コモディティ情報開示の入門

森林への事業依存度を理解する：

1. 森林への影響を把握
2. 森林減少に関するリスクの把握
3. 森林減少に関する機会の把握
 - 森林減少リスクの回避
 - 森林喪失を逆転させるための事業戦略転換

※**森林への依存** = 森林減少との高い関連性があり、生産条件を生態系サービスに依存しているコモディティの生産または調達



質問書の設定-フォレスト

コモディティの開示

コモディティ	貴組織は、報告期間中にこのコモディティを生産、調達、または使用していますか？	このコモディティについて開示をしますか？
木材	<ul style="list-style-type: none">• はい○ いいえ	<ul style="list-style-type: none">• はい○ いいえ
パーム油	<ul style="list-style-type: none">○ はい• いいえ	<ul style="list-style-type: none">○ はい○ いいえ
畜牛品	<ul style="list-style-type: none">• はい○ いいえ	<ul style="list-style-type: none">○ はい• いいえ
大豆	<ul style="list-style-type: none">○ はい• いいえ	<ul style="list-style-type: none">○ はい○ いいえ
天然ゴム	<ul style="list-style-type: none">○ はい• いいえ	<ul style="list-style-type: none">○ はい○ いいえ
カカオ	<ul style="list-style-type: none">○ はい• いいえ	<ul style="list-style-type: none">○ はい○ いいえ
コーヒー	<ul style="list-style-type: none">○ はい• いいえ	<ul style="list-style-type: none">○ はい○ なし

詳細については、CDPコーポレートの「質問書設定」プレビューを参照してください

。



コモディティデータ



CDPは、より透明性が高く、包括的で比較可能な開示データを作成するため、開示者に対して、生産または調達したすべてのコモディティ量を報告するよう要請している

- **コモディティ総量**：開示に含まれるか含まれないかにかかわらず、生産または調達されたコモディティの総量
- **開示量**：組織の開示に含まれる量
- **生産量**：「開示量」のうち、企業によって生産された割合
- **調達量 (Sourced volume)**：「開示量」のうち、企業が加工、取引、製造や包装のための原材料として、消費・調達・購入・使用した分の割合

完全版質問書	1.22
	8.1
	8.2



例：A社

30,000トンの大豆を生産し、調達する。

報告年度の合併に伴う10,000トンの大豆を除外

「生産量」 = 15,000トン

「コモディティ総量」 = 30,000トン

「情報開示数量」 = 20,000トン

「調達量」 = 5,000トン



参考資料：

[CDPテクニカルノート コモディティ量の報告](#)





バリューチェーンマッピング

バリューチェーンマッピングとは：
組織内の活動、プロセス、価値創造の流れを理解するプロセス

プロセスの流れ：
バリューチェーン当事者を特定し、当事者が事業を行っている場所を特定し、バリューチェーン間の関係性の特定をする



間接的サプライヤー
、すなわちティア2以
上

直接サプライヤー
、すなわちティア1

貴組織

完全版質問書	1.24 1.24.2
--------	----------------

最初のステップの例

1. 組織の活動内容の特定をする
2. グループレベルの分類コードを割り当てる
3. 森林リスクの高い活動を行う直接サプライヤーを特定する
4. 上記情報をもとに、バリューチェーンマップの作成をする

参考資料：

- [CDPの活動分類システム](#)
- [CDPの森林影響分類（付録1参照）](#)
- [サプライチェーン管理に関するアカウンタビリティ・フレームワーク・イニシアチブ（AFi）ガイダンス](#)
- [バリューチェーン評価に関するSBTNガイダンス](#)
- [バリューチェーンに関するTNFDガイダンス](#)

トレーサビリティ



トレーサビリティとは：
製品またはその構成要素を、上流バリューチェーンの段階を通じて追跡する能力を意味する（AFi, 2024）



完全版質問書	8.8 8.8.1
--------	--------------



トレーサビリティを確保する方法（例）

- バリューチェーンマッピング
- サプライヤーとのエンゲージメント
- オープンデータプラットフォームを活用（例：TRASE）
- デジタルトレーサビリティシステム/ブロックチェーンの活用
- Chain of custody 認証の取得
参考資料
- CDPテクニカルノート：森林減少と転換を伴わないバリューチェーンに関する進捗報告
- サプライチェーン・マネジメントに関する説明責任フレームワーク・イニシアチブ（AFi）ガイドンス
- TRASEオープンデータプラットフォーム

トレーサビリティレベル

最も低い
特定レベル

原産国・地域以外の
原産地

例：ペルーの第一輸入業者
まで追跡され、原産国は不明

原産国・地域

例：ブラジルまで追跡され、
ブラジルで生産されたが、
ブラジル国内の原産地は不明

調達地域

例：ブラジルのマトグ
ロソン地域で生産された
ものであるが、生産
ユニットは不明

最も具体的な
特定レベル

生産ユニット

例：原産地の農園、農場、
牧場、森林管理単位まで
トレースされている
EUDR要求事項



森林減少と自然生態系の転換



自然生態系の転換

自然の生態系が他の土地利用へ変化すること、または自然の生態系の種の構成、構造、機能に重大な変化が生じること。

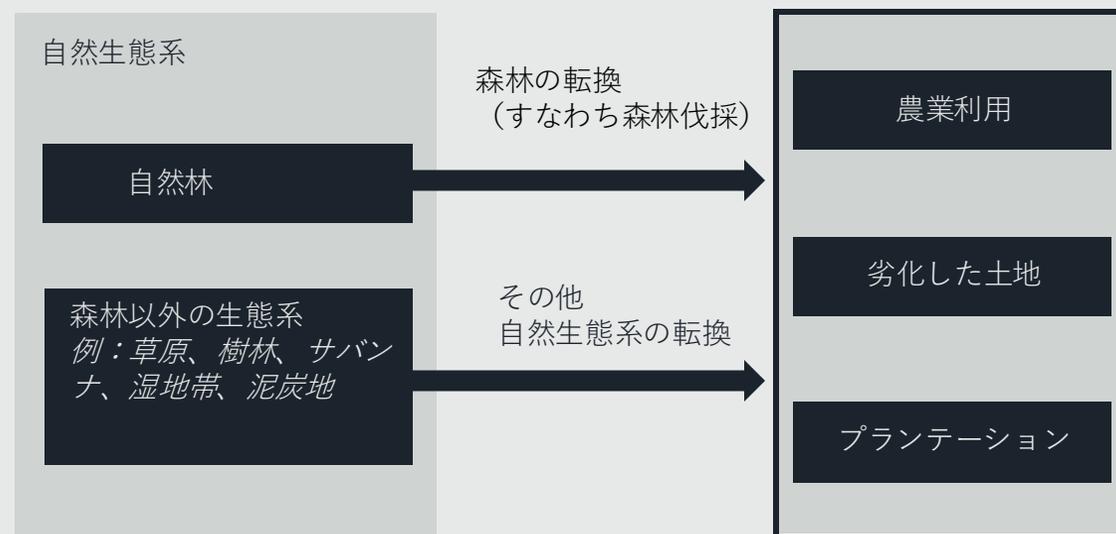
森林減少

自然林を他の土地利用に転換すること、または、自然林の種の構成、構造、機能に重大な変化をもたらすこと。

完全版質問書	8.9
--------	-----



森林は自然生態系の一種であり、森林減少は自然生態系の転換の一種である。



参考資料：

アカウンタビリティ・フレームワーク・イニシアチブ (AFi) 森林減少と転換に関する定義適用ガイダンス



森林減少と自然生態系の 転換のないステータス



森林減少なし (Deforestation Free)

森林減少を引き起こしたり助長したりしない、コモディティの生産・調達、または金融投資のことを指す

森林減少なし、および自然生態系の転換なし (Deforestation and Conversion Free)

森林減少や自然生態系の転換を引き起こしたり、助長したりしない、コモディティの生産・調達、または金融投資を指す

完全版質問書	8.9
--------	-----



証明する方法 (例)

- 完全な保証を証明する第三者認証
- 生産単位のモニタリング
- 調達先のモニタリング

参考資料：

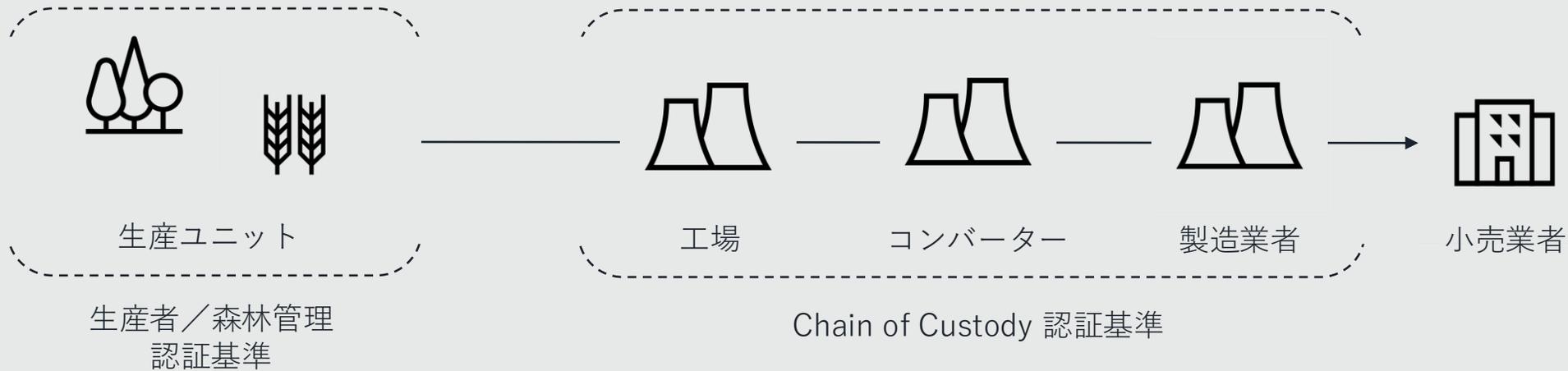
アカウントビリティ・フレームワーク・イニシアティブ (AFi)

- ガイダンスDCF報告
- 説明者生産ユニットレベルでのコンプライアンスの評価
- 説明責任ある生産
- ウェビナー森林減少・転換のない農林産物の調達



第三者認証

完全なDF/DCF保証を提供するスキーム



適切なカットオフ日以降において、森林減少および自然生態系の転換を行わないという強固な要件があるか？



原材料供給の物理的な追跡可能性（すなわち、分別管理（SG）または識別保持（IP）されたCoCモデル）があるか？



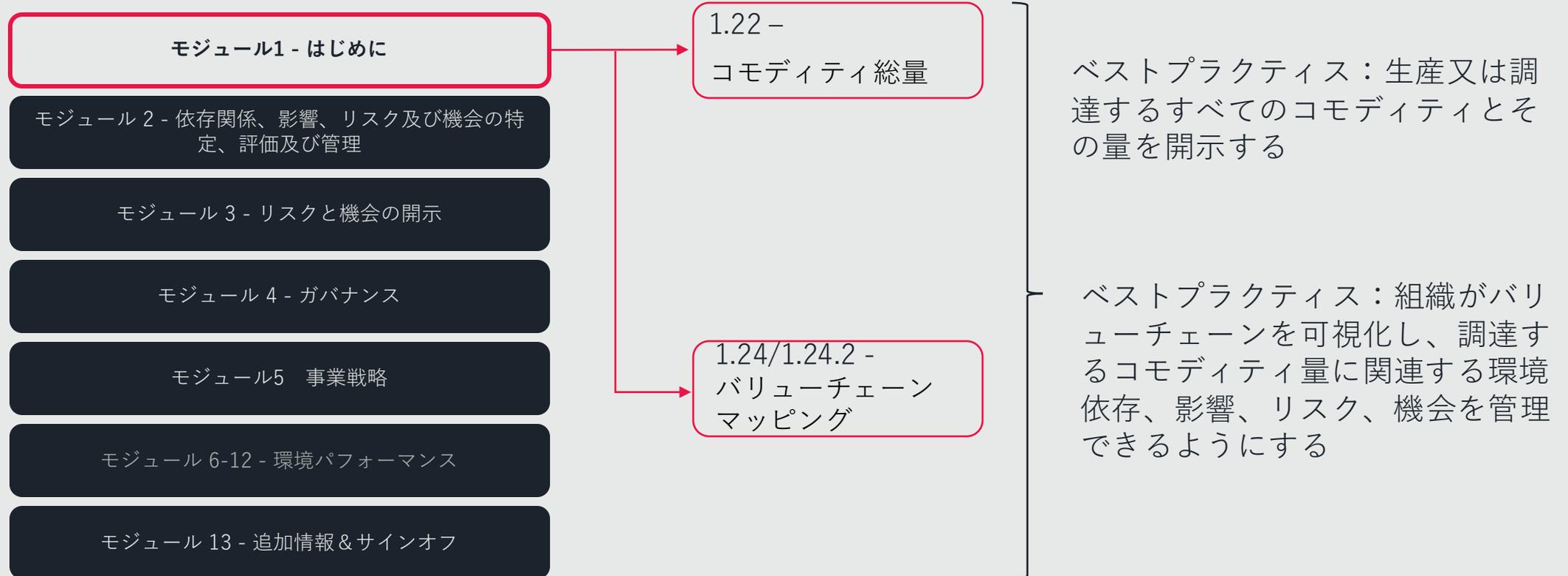
森林に関する 主な設問



情報開示による
環境改善

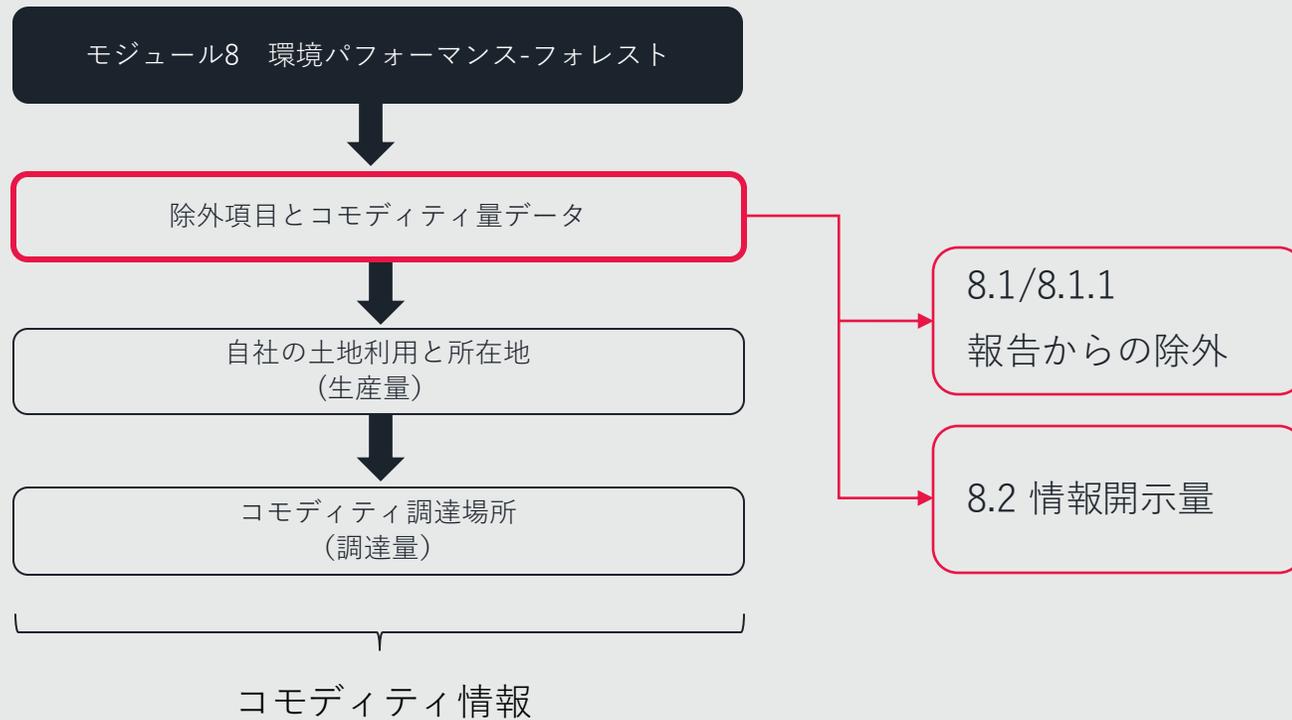
モジュール1

総コモディティ量とバリューチェーンマッピング



モジュール8 – フォレスト

除外項目とコモディティ量データ



ベストプラクティス：組織は、報告バウンダリーからのすべての除外項目を報告し、開示からの重要な除外項目がない。

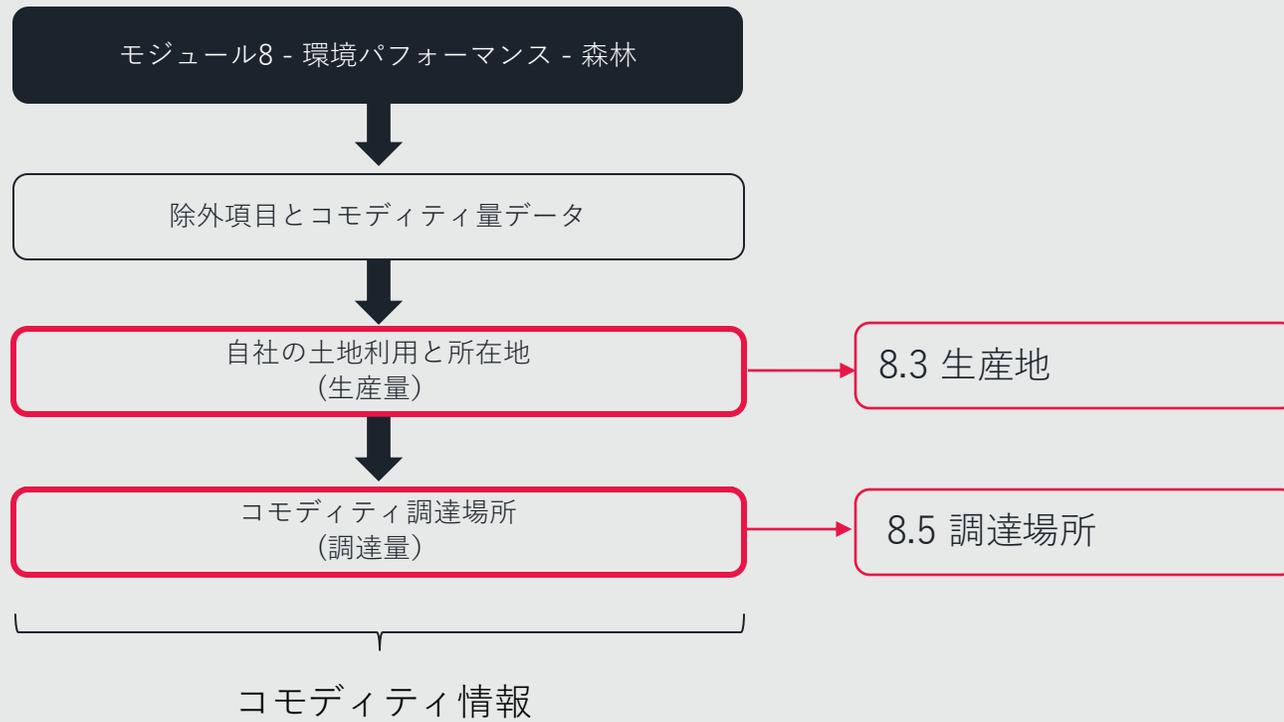
アクション：報告バウンダリーを設定し、除外項目を特定する

EUDRは、少量の除外を認めていません。
完全なコモディティ情報開示を準備することは、デューデリジェンス義務を開始することに貢献します。



モジュール8 – フォレスト

調達地と生産地



ベストプラクティス：

組織は以下を開示する：

- 自社が所有、管理、または支配するすべての拠点。
または管理するすべての拠点。
- 調達量のすべての原産地。

アクション：

- 調達／生産場所を特定する。
- 地理参照地図またはシェープファイルを提供する。

EUDRは、コモディティが生産または収穫された土地の区画の地理座標を要求している



モジュール8 – フォレスト

森林減少なし・転換なし目標



8.7/8.7.1/8.7.2
積極的な森林減少なし・
転換なし目標

ベストプラクティス：

森林減少およびその他の自然生態系の転換を根絶するために、組織全体で期限付きかつ定量的な目標を設定する。

アクション：

- ・「森林減少なし / 転換なし」の定義を明確化
 - > 組織としての方針や基準を統一
 - > Accountability Framework Initiative (AFi) のガイダンスを参照
 - └ 森林破壊・生態系転換に関する用語と定義の適用方法を提供

- ・指定期限 (Cutoff Date) の特定
 - > セクターや地域で合意された**基準日**を明確に
 - 例：●年●月●日以降の森林減少を「ゼロ方針違反」とみなす
 - > AFiの「Operational Guidance: Cutoff Dates」を活用し、整合性を確保



モジュール8 – フォレスト

トレーサビリティ



8.8
トレーサビリティシステム

8.8.1
トレーサビリティレベル

ベストプラクティス：

下記を確実にするための強固なトレーサビリティ・システムを有する：

- バリューチェーン全体における調達量の原産地が明確である、または管理されている
- 調達量が、指定された期限以降、生産中に森林減少やその他の自然生態系の転換が行われていないことを確認できる時点まで追跡されている

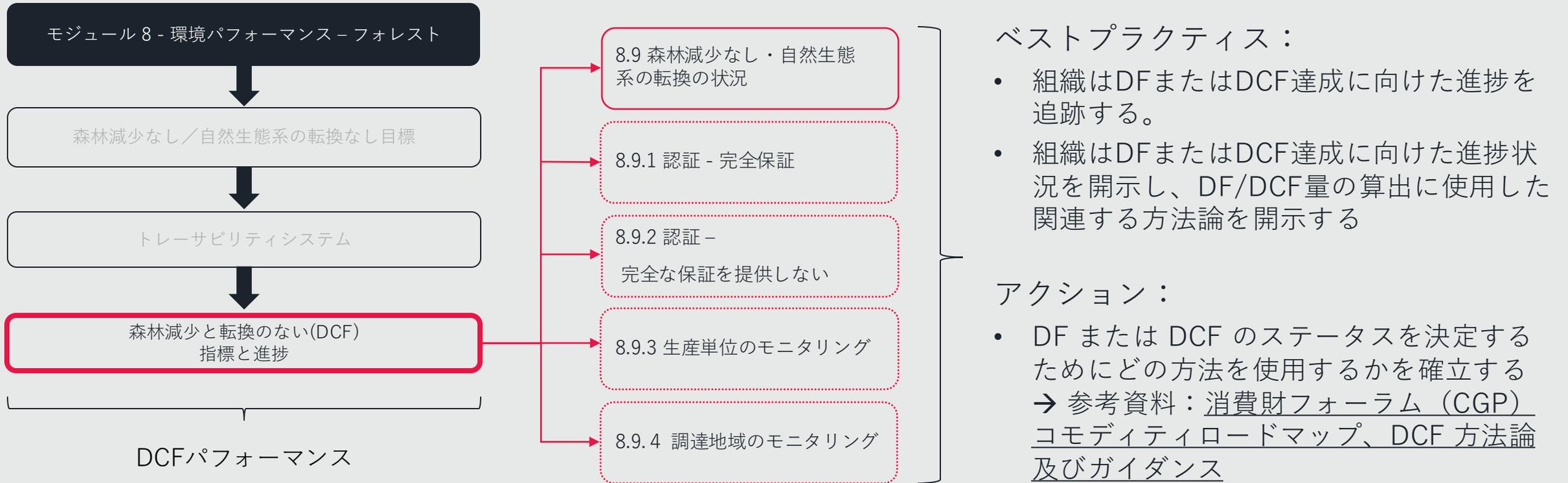
アクション：

- 既存のトレーサビリティ・システムを評価するために、直接のサプライヤーやステークホルダーに働きかける
- 次のステップとして、まずは自国や地域で実施されているトレーサビリティの取り組みを調査する。例えば、ブラジルの肉・革のバリューチェーンにおけるトレーサビリティイニシアチブ等。
>>こうした事例を参考に、自社のサプライチェーンに適した方法を検討していく



モジュール8 – フォレスト

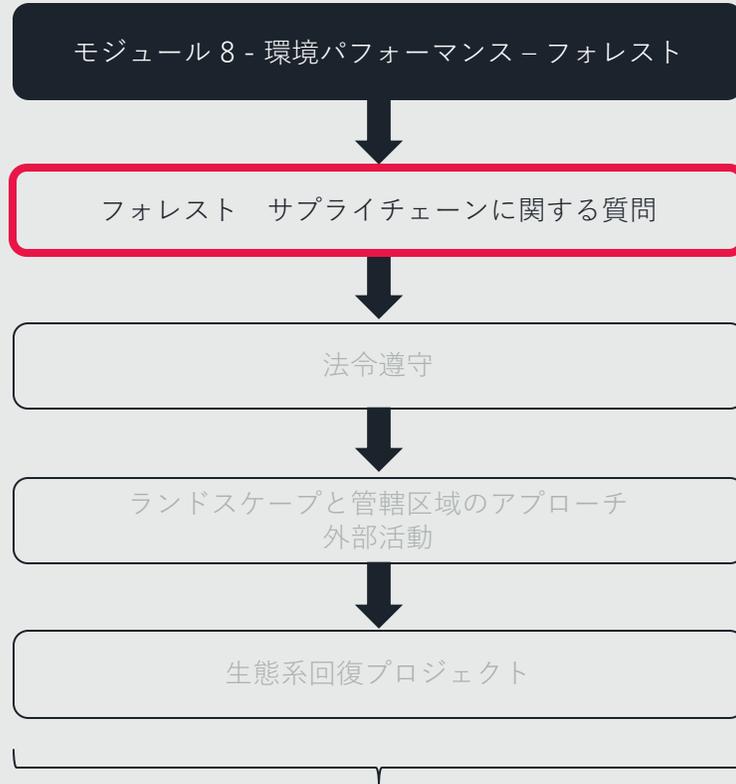
コモディティの森林減少なし（DF）、自然生態系の転換なし（DCF）ステータス



回答例とDF/DCF認証リストは、[CDPテクニカルノート「Reporting progress on Deforestation- and Conversion-free value chains」](#)に掲載されています。

モジュール8 – フォレスト

CDPサプライチェーンに関する質問



8.12.1
認証コモディティの販売量

ベストプラクティス：

- 取引先（要請元）に販売されるコモディティ総量のうち、第三者によって認証されたものの割合、使用された認証スキーム、および認証されたコモディティの形態を提供する

アクション：

- 自社が保有するすべての認証と、サプライヤーが保有する認証の情報を収集する。

持続可能なバリューチェーンへの取り組み



モジュール8 – フォレスト

CDPサプライチェーンに関する質問



8.13/8.13.1 土地の変化による
温室効果ガス排出削減量

ベストプラクティス：

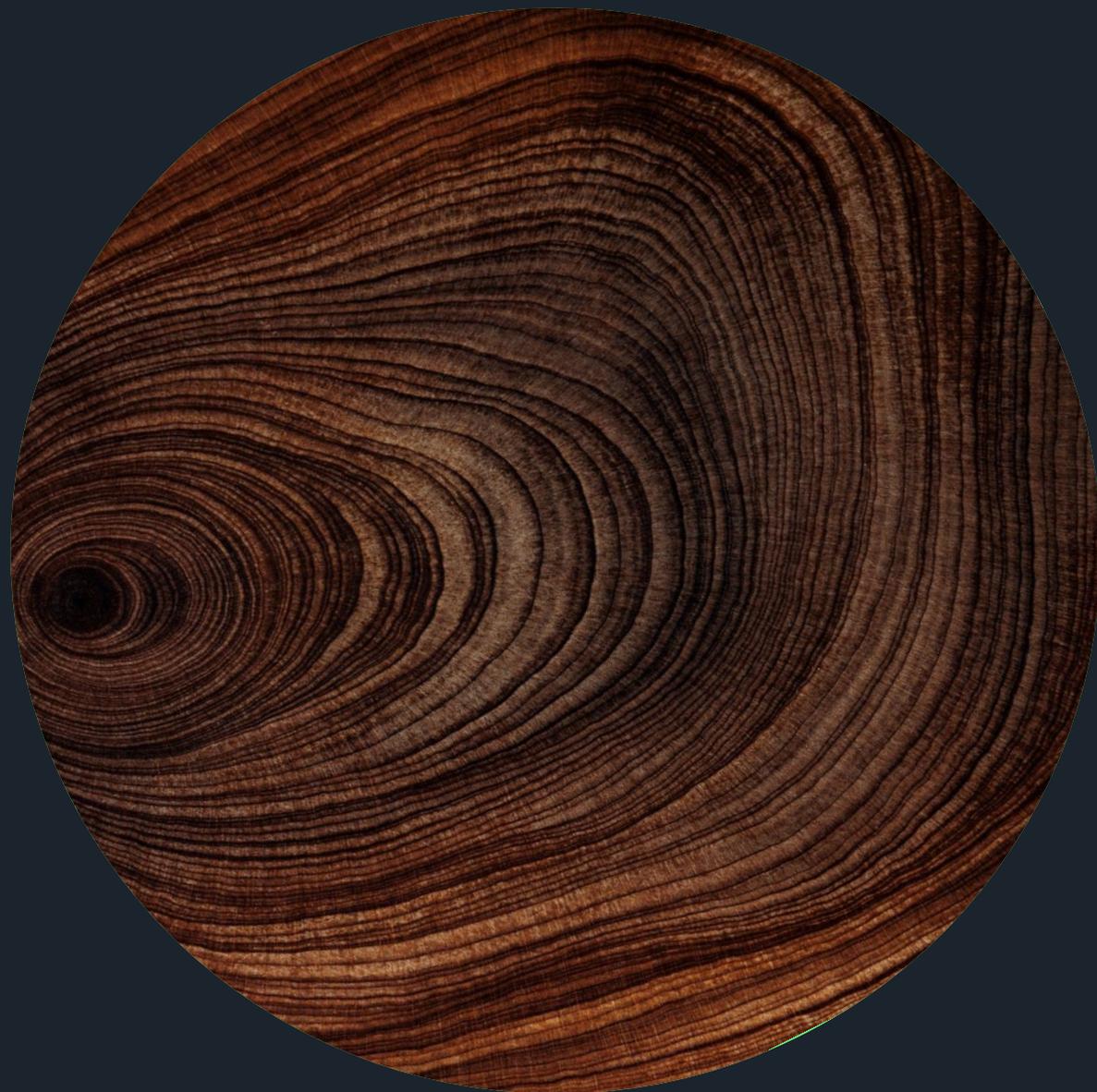
- 直接的事業及び/又は上流のバリューチェーンで発生した土地利用管理及び土地利用変化によるGHG排出削減及び/又は除去に関する情報を提供する

アクション

- 排出削減効果をもたらした活動に関する情報を収集すること



その他の サポートとリソー ス



フォレスト情報開示に向けて

一般的なガイダンス & サポート

- オンライン・ディスクロージャーガイダンスは[こちら](#)をご覧ください。
- 情報開示の方法は[こちら](#)をご確認ください。
- 質問書/報告ガイダンス/スコアリング基準は[こちら](#)をご覧ください。

Questionnaire and reporting guidance 2025

Our focus on stability and core functionality delivery underpins the rationale for minimal changes to the questionnaire and scoring methodology in 2025 – as well as improved support available through detailed guidance and training for account managers.

Disclosers can prepare for the disclosure cycle by downloading PDF versions of our questionnaire and reporting guidance for 2025, below.

Translated versions of these documents will be available in May.



Companies

Questionnaire and guidance for those responding to the CDP Full Corporate questionnaire in 2025

[DOWNLOAD – MODULES 1 TO 6 \(PDF\)](#)

[DOWNLOAD – MODULE 7 \(PDF\)](#)

[DOWNLOAD – MODULES 8 TO 13 \(PDF\)](#)



Small and Medium Sized Enterprises (SMEs)

Questionnaire and guidance for those responding to the CDP SME Corporate questionnaire in 2025

[DOWNLOAD – MODULES 14 TO 21 \(PDF\)](#)



Cities, States and Regions

CDP-ICLEI Track questionnaire and guidance for those responding to either the CDP Cities questionnaire or States & Regions questionnaire in 2025

[DOWNLOAD \(PDF\)](#)



参考資料集

2025年CDP質問書開示 参考資料

- [Questionnaire and reporting guidance 2025](#)
- [Corporate Disclosure Key Changes for 2025](#)
- [CDP Guidance and scoring methodology for companies](#)
- [CDP Help Center](#)
- [FAQs: General disclosure information](#)

2025年 CDP質問書（フォレスト）開示 参考資料

- [CDP Technical Note: Reporting Commodity Volumes](#)
- [CDP Technical Note: Reporting progress on Deforestation-and Conversion-free value chains](#)

追加リソース

- [Consumer goods forum \(CGP\) forest positive approach & guidance for commodity suppliers](#)
- [Accountability Framework initiative e-learning platform](#)
- [Accountability Framework initiative tools & guides](#)
- [Proforest academy e-learning platform](#)



スコアリング対象となる
回答提出〆切：

2025年9月17日



追加リソース

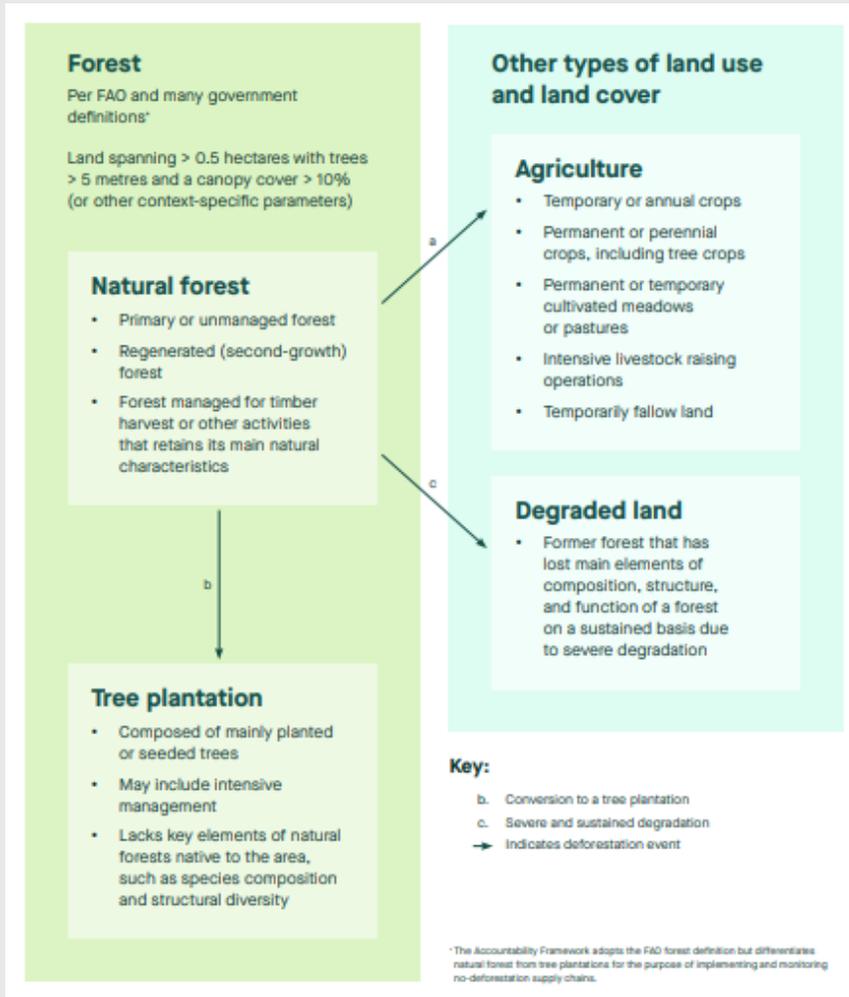
主要なトピックの理解を促進するための追加資料：

- 「森林減少」と「自然生態系の転換」について
- トレーサビリティの報告について

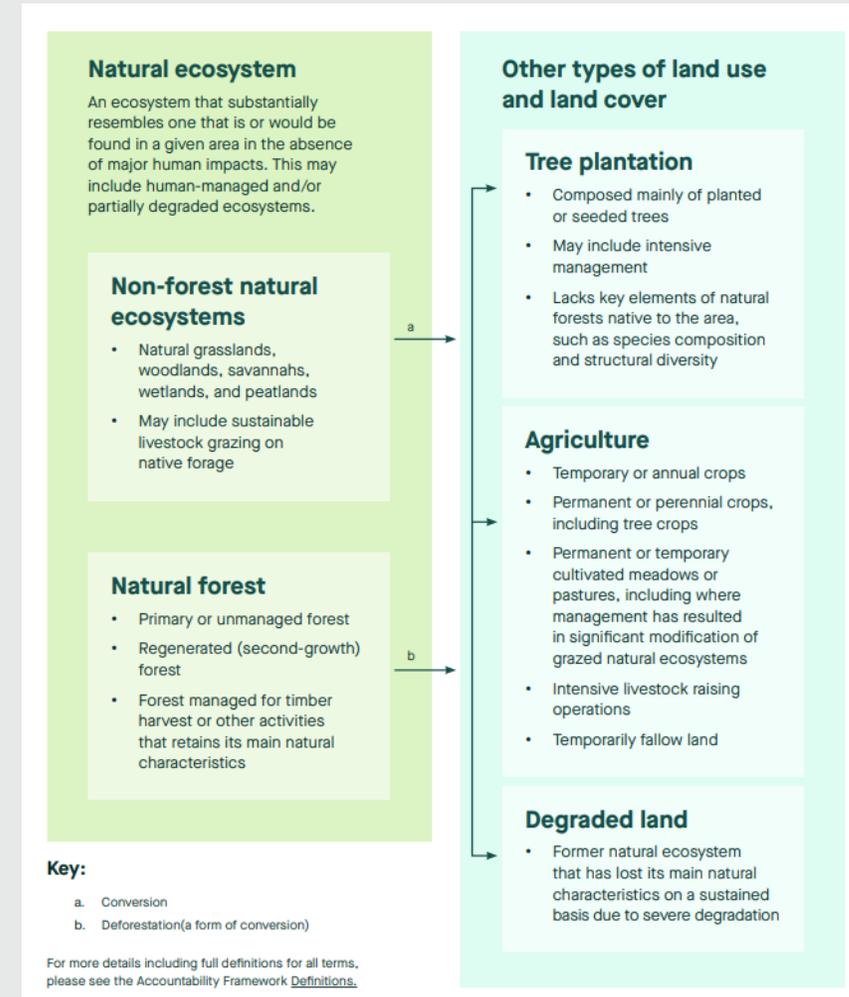


「転換」の種類を理解する

「森林減少なし」



「自然生態系の転換なし」



トレーサビリティの報告

